

令和6年2月29日
山形県農林水産部

報道関係者各位

山形県さくらんぼスマート・省力栽培研修会の開催について

さくらんぼは、本県を代表する果樹ですが、今後も産地を維持していくためには収穫や雨除けビニール被覆等に係る労力の軽減対策が課題となっています。

また、近年は、夏季の異常高温、春の降霜など、気象災害が頻発・激甚化しており、その影響を最小限に抑えることも課題となっています。

このため、将来のさくらんぼ産地の維持・発展に向け、規模拡大や省力化をサポートするスマート農機や軽労的な仕立て方の開発状況、気候変動への対策、さらに、現場における省力化や安定生産の取組みを学ぶ研修会を下記のとおり開催いたしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

記

- 1 日 時 令和6年3月4日（月）午後1時30分から午後4時まで
- 2 場 所 山形県農業共済組合本所（天童市小関1333）
※オンライン併用
- 3 主 催 山形県
- 4 参集範囲 県内生産者、JAグループ、関係市町村 等
- 5 内 容

(1) 基調講演

- ①「さくらんぼ収穫ロボット開発の現状と展望」

山形大学大学院理工学研究科 教授 妻木 勇一 氏

- ②「さくらんぼの軽労的な仕立て方について」

山形県農業総合研究センター園芸農業研究所 研究主幹（兼）果樹部長 工藤 信

- ③「温暖化環境での果樹栽培 ～高温・少雨、暖冬対策～」

山形県農林水産部農業技術環境課 果樹技術専門員 松田 成美

(2) 事例紹介

- ①さくらんぼ雨除けビニールの省力的な被覆方法について

寒河江市さくらんぼ生産者 太田 幸児 氏

- ②「脱・結実不良」（省力的なマメコバチの飼養方法について）

東根果樹研究会 武田 拓 氏・高橋 和貴 氏

【問合せ先】

園芸大国推進課

課長補佐（園芸農業推進） 伊藤 祐幸

Tel:023-630-2453

[報道監]農林水産部次長 齋藤 邦仁